

協議第 30 号

保健衛生事業の取扱いについて（その 3）

保健衛生事業の取扱いについて承認を求める。

平成 19 年 7 月 3 日 提出

熊本市・富合町合併協議会会長 幸 山 政 史

保健衛生事業の取扱いについて

- 1 乳幼児健診のうち、乳児健診は、当分の間現行どおり存続する。  
幼児健診は、合併時に熊本市の例により統合する。
- 2 組織育成（母子保健）については、合併後 3 年間は現行のままとし、  
その後の取扱いについては新市において検討する。
- 3 5 歳児相談については、当分の間現行どおり存続する。
- 4 集団予防接種については、当分の間現行どおり存続する。
- 5 下記の事業については、合併特例区の事業として実施する。
  - ・ ふるさと総合健診
  - ・ 腹部超音波健診
  - ・ 健康まつり

平成 年 月 日

原案承認 ・ 修正承認 ・ 継続審議

## 合併協議項目事業一覧（保健衛生事業）

協議番号	枝番号	協 議 項 目	部会名	提案	承認／継続	備考
30		保健衛生事業の取扱い				
	1	女性健康診査	健康福祉部会	第2回	第3回 ○承認	熊本市のみ
	2	肺がん検診	健康福祉部会	第4回		
	3	胃がん検診	健康福祉部会	第4回		
	4	大腸がん検診	健康福祉部会	第4回		
	5	子宮がん検診	健康福祉部会	第4回		
	6	乳がん検診	健康福祉部会	第4回		
	7	妊婦健診	健康福祉部会	第4回		
	8	結核健診	健康福祉部会	第4回		
	9	インフルエンザ予防接種	健康福祉部会	第4回		
	10	個別予防接種	健康福祉部会	第4回		
	11	基本健康診査	健康福祉部会	第4回		
	12	乳幼児健診	健康福祉部会	第5回		
	13	組織育成(母子保健)	健康福祉部会	第5回		
	14	5歳児相談	健康福祉部会	第5回		富合町のみ
	15	集団予防接種	健康福祉部会	第5回		
	16	ふるさと総合健診	健康福祉部会	第5回		富合町のみ
	17	腹部超音波検診	健康福祉部会	第5回		富合町のみ
	18	健康まつり	健康福祉部会	第5回		

協議項目	30 保健衛生事業の取扱い	小項目名	12 乳幼児健診
調整方針	乳児健診は、当分の間現行どおり存続する 幼児健診は、合併時に熊本市の例により統合する		

調 査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	<p>1. 乳児健診 対象者：3 ヲ月児・7 ヲ月児 場 所：委託医療機関 (熊本市医師会及び市近隣の小児科専門医療機関) 回 数：通年(医療機関の診療時間内)</p> <p>委託料：乳児健診 5,350 円 事務費(市医師会) 1,065,066 円</p> <p>2. 幼児健診 対象者：1 歳 6 ヲ月児・3 歳児 場 所：各保健福祉センター 回 数：1 歳 6 ヲ月児 毎週 1 回実施(東 HC のみ週 2 回) 3 歳児 月 3 回実施</p> <p>医師報償費：20,010 円／回 栄養士：8,600 円／回 歯科衛生士：8,600 円／回 心理相談員：8,600 円／回 看護師：8,600 円／回 歯科医師：20,010 円／回(東 HC のみ)</p>	<p>1. 乳児健診 対象者：3～4 ヲ月児・7～8 ヲ月児 場 所：雁回館(保健センター)</p> <p>回 数：12 回／年 月に 1 回 3～4 ヲ月児と 7～8 ヲ月児を合同で実施 (1 回あたり 5 名+5 名程度) ※育児相談、保健・栄養指導等の実施</p> <p>委託料：小児科医師 23,000 円／回 看護師賃金 2,220 円／回</p> <p>2. 幼児健診 対象者：各健診 1 回あたり 15 名程度 場 所：雁回館(保健センター) 回 数：1 歳 6 ヲ月児 4 回／年 3 歳児 4 回／年</p> <p>小児科医師委託料：23,000 円／回 歯科医師費用弁償：20,000 円／回 歯科衛生士謝礼：5,000 円／回 臨床検査技師賃金：2,220 円／回 看護師賃金：2,220 円／回</p>	<p>1. 乳児健診 富合町の集団健診は、当分の間現行どおり存続する。</p> <p>2. 幼児健診 合併時に熊本市の例により統合する。</p>

協議項目	30 保健衛生事業の取扱い	小項目名	13 組織育成(母子保健)
調整方針	合併後3年間は現行のままとし、その後の取扱いについては新市において検討する		

調 査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	<p>【子育て支援ネットワーク】 母子保健推進員による地域活動は実施していない。</p> <p>地域(校区)の特性に応じて「地域の子育て支援を地域で考え実践する」しくみを作るために、市内全小学校区内で子育て支援組織(子育て支援ネットワーク)を保健福祉センターの保健師が中心となり育成している。 市民協働の取り組みの一つとして展開しており全校区(80校区)設置を目指している。 設置状況：64校区(平成18年度末)</p> <p>○組織 各校区毎に、自治会、社会福祉協議会・民生児童委員協議会等の関係団体や保育園等の関係機関、子育て中の母親等で構成されている。</p> <p>○活動 ・子育てマップ・機関紙等の発行 ・子育てサークルの開催 ・声かけ運動 ・その他子育て支援に関すること</p>	<p>【母子保健推進員】 推進員：22地区を14名の推進員で担当 活動報酬費：1件あたり300円 (18年度は900件で予算計上)</p> <p>○組織 推進員は、お母さんたちと同世代の30～40代で、区長の推薦により選定している。</p> <p>○活動 役場より健診、教室等の個人通知を推進員宛に送付し、推進員が声かけしながら配布している。また、子育ての相談を受けたり、役場への情報を提供等、住民と役場のパイプ役となっている。</p>	合併後3年間は現行のままとし、その後の取扱いについては新市において検討する。

協議項目	30 保健衛生事業の取扱い	小項目名	14 5歳児相談
調整方針	当分の間、現行どおり存続する		

調 査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	該当なし	<p>1. 目 的 軽度発達障害児や身体異常、心の問題等を就学前に発見し、適切な対応をすることで、就学後の問題を軽減、健康の保持増進をはかる。また、子育て相談への助言・指導を行ない、子育て支援につなげる。</p> <p>2. 対象者 年中児（4歳児）50名</p> <p>3. 場 所 雁回館（保健センター）</p> <p>4. 内 容 質問紙によるスクリーニング後、結果により臨床心理士による面接相談を行う。</p> <p>5. スタッフ 臨床心理士2名（県児童相談所） 保健師（県保健所1、町1） 管理栄養士</p> <p>平成18年9月より実施。現在4～5名をフォロー中。 平成19年度は、6回実施予定</p>	当分の間、現行どおり存続する。

協議項目	30 保健衛生事業の取扱い	小項目名	15 集団予防接種
調整方針	当分の間、現行どおり存続する		

調 査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	<p>1. ポリオ 回 数：毎年4月、10月（延91回） 対象者：生後3～90ヵ月までの未接種者 場 所：保健福祉センター（5ヵ所）総合支所等（6ヵ所） ただし、2回目を受けるときに、保健福祉センターでの実施では90月を越える場合、海外渡航、及び基礎疾患等で保健福祉センターでの接種が困難な者等には市民病院で対応可。</p> <p>平成16年度 12,994人 平成17年度 11,361人</p> <p>2. BCG 回 数：毎月1回（延68回：一部のセンターでは月2回有り） 対象者：生後3～6ヵ月未満の未接種者 場 所：保健福祉センター（5ヶ所） ただし、基礎疾患等で保健福祉センターでの接種が困難な者には市民病院で対応可。</p> <p>平成16年度 8,246人 平成17年度 6,393人</p> <p>平成18年度予算 ポリオ、BCG 計19,212千円</p>	<p>1. ポリオ 回 数：4回／年 4、10月 対象者：生後3～90ヵ月までの未接種者 場 所：雁回館（保健センター）</p> <p>平成16年度 113人 平成17年度 122人</p> <p>2. BCG 回 数：6回／年 対象者：生後3～6ヵ月未満の未接種者 場 所：雁回館（保健センター）</p> <p>平成16年度 92人 平成17年度 42人</p> <p>平成18年度予算 ポリオ、BCG計1,246千円</p>	当分の間、現行どおり存続する。

協議項目	30 保健衛生事業の取扱い	小項目名	16 ふるさと総合健診
調整方針	合併特例区の事業として実施する		

調 査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	総合健診としては該当なし (基本健康診査とがん検診は各々実施)	<p>ふるさと総合健診（りんどうコース）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：40歳～74歳</li> <li>・個人負担金： <ul style="list-style-type: none"> <li>男性（70歳未満） 5,600円</li> <li>男性（70歳以上） 3,600円</li> <li>女性（婦人がんなし 70歳未満） 5,600円</li> <li>女性（婦人がんあり 70歳未満） 7,800円</li> <li>女性（婦人がんマンモ2方向 70歳以上） 8,300円</li> <li>女性（婦人がんなし 70歳以上） 3,600円</li> <li>女性（婦人がんあり 70歳以上） 5,800円</li> </ul> </li> <li>・内容：健診項目は選択不可 <ul style="list-style-type: none"> <li>男性：胃がん、肺がん、基本検診、大腸がん（便潜血検査）、超音波検診</li> <li>女性：胃がん、肺がん、基本検診、大腸がん（便潜血検査）、超音波検診、子宮がん、乳がん（視触診＋マンモグラフィ）</li> </ul> </li> <li>* 40・45・50・55・60・65・70歳で希望者は肝炎ウイルス検査（C型B型）を追加受診できる。</li> <li>個人負担金：1,000円</li> <li>・実施場所：雁回館</li> <li>・委託料：男性と偶数女性 18,921円 <ul style="list-style-type: none"> <li>奇数女性 1方向 25,221円</li> <li>2方向 26,796円</li> </ul> </li> </ul>	<p>合併特例区の事業として実施する。</p> <p>検診の種類については合併までに検討する。</p>

協議項目	30 保健衛生事業の取扱い	小項目名	17 腹部超音波検診
調整方針	合併特例区の事業として実施する		

調 査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	該当なし	<p>腹部超音波検診</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者 : 19 歳以上</li> <li>・ 実施期間 : 9 月頃 5 日間</li> <li>・ 個人負担金 : 1,500 円</li> <li>・ 委託料 : 3,460 円</li> <li>・ 実施場所 : 雁回館</li> <li>・ 委託先 : 日赤健康管理センター</li> <li>・ 受診者数 (18 年度) : 8 月 538 名 5 月 457 名</li> </ul>	合併特例区の事業として実施する。



作業部会名:健康福祉部会

協議項目	30 保健衛生事業の取扱い	小項目名	18 健康まつり
調整方針	合併特例区の事業として実施する		

調 査	現 況		調整の具体的内容
市町名	熊 本 市	富 合 町	
市町別内容	<p>1. 名 称 熊本市健康フェステバル</p> <p>2. 月 日 10 月（第 2 土曜・日曜）</p> <p>3. 場 所 熊本市中心部（熊本県民交流館パレア）</p> <p>4. 内 容</p> <p>①各種相談 健康（専門科別）、子育て、年金、健康保険、年金、健康保険、生活衛生 等</p> <p>②無料検査 血液、尿、心電図 等</p> <p>③体験・展示 アロマ、点字・手話、健康くまもと 21 活動 等</p> <p>④表彰・ステージ 8020 表彰、親子ふれあい遊び、エプロンシアター等</p> <p>⑤プレイベント 講演会、シンポジウム 等</p> <p>5. 実行委員会 熊本市、熊本県医師会、熊本市医師会 熊本日日新聞社 後 援 熊本県、熊本市教育委員会、NHK 他</p> <p>6. 予 算 約 14,500 千円（うち熊本市 6,500 千円）</p>	<p>1. 名 称 健康の里フェステバル</p> <p>2. 月 日 11 月 1 日～11 月 23 日</p> <p>3. 場 所 アスパル富合 他</p> <p>4. 内 容</p> <p>①文化祭 展示と発表会</p> <p>②健康祭 講演会(11/23)、健康相談、体脂肪測定、展示実技指導、お楽しみ抽選会など</p> <p>③産業祭 農産物品評会(11/23)、物産販売、バザーなど</p> <p>④その他 期間中にミニバレー大会、グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会 等</p> <p>5. 実行委員等 健康福祉課、産業振興課、生涯学習課、企画課、保険課、町民課、健康づくり協議会や農協、各種推進員が助言・協力</p> <p>6. 予 算 638 千円</p>	合併特例区の事業として実施する。